

教科(科目)	保健体育 (保健)	単位数	1 単位	学年(コース)	2 年次必履修保健
使用教科書	「現代高等保健体育」(大修館)				
副教材等	「現代高等保健体育ノート」(大修館)				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①地域と連携する活動をとおして、地域に愛着を持ち、将来にわたり地域社会に主体的に貢献しようとする姿勢を育成します。</p> <p>②防災減災学習や地域理解学習をとおして、地域の課題を自分事として捉え、解決しようとする態度を育成します。</p> <p>③豊かな心を持ち、思いやりをもって自他を尊重し、国際化に対応したコミュニケーション能力を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>①基本的な生活習慣を確立させる生徒指導や人権教育、同和教育の推進をとおして、規範意識・社会性の涵養、いじめを許さない態度の育成をするための教育活動を展開します。</p> <p>②3年間の系統的で継続的な「白嶺HS J」(ホップ・ステップ・ジャンプ)プランによるキャリア教育や防災減災学習により、学力向上、進路実現を目指すための指導や取り組みを推進します。</p> <p>③職業理解、地域理解を深め、地域課題を解決しようとする態度を育成するため、地元の産業界、関係機関等との連携・協働を推進し、地域の復興や活性化に向けた教育活動に取り組めます。</p>

2 学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。

(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。

(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

3 指導の重点

- ① 生涯を通じる健康について理解を深め、課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。
- ② 健康を支える環境づくりについて理解を深め、健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現できるようにする。

4 評価の観点の趣旨

a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
生涯を通じる健康、健康を支える環境作りについて、個人だけでなく社会生活全般を総合的に理解できるようにするとともに、それらの内容に関わる技能を身につけようとしている。	健康に関わる事象や健康情報などから、自分や社会の問題を発見し、よりよい解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択しようとしている。また、それらを他者に伝え、実践しようとしている。	自他の健康やそれを支える環境作りに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることにより、現在及び将来の生活を健康で明るく豊かなものにしようとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考査の分析 ・ 授業中の取り組みの状況 ・ レポートなど提出物の内容の確認 などから評価します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考査の分析 ・ 授業中の取り組みの状況 ・ レポートなど提出物の内容の確認 などから評価します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 考査の分析 ・ 授業中の取り組みの状況 ・ レポートなど提出物の内容の確認 などから評価します。
	各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。 授業中の取り組みの状況とは、観察などから行います。 レポートとは、ワークシートやプリントなどに加え、GoogleClassroomでのレポート提出などを含みます。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価の観点と評価方法
4	オリエンテーション	プリント	・ 保健授業の意義や心構えや注意事項、評価方法などの説明	1	

8 9	9 労働災害と 健康 10 健康的な職 業生活	教科書・ ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。 ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。 ・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。 	2	<p>提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査 a, b, c</p> <p>提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査 a, b, c</p>
--------	--------------------------------------	-------------	---	---	---

	<p>4 単元 「健康を支える 環境づくり」</p> <p>1 大気汚染と 健康</p> <p>2 水質汚濁、 土壌汚染と健康</p> <p>3 環境と健康 にかかわる対策</p> <p>4 ごみの処理 と上下水道の整 備</p> <p>5 食品の安全 性</p> <p>6 食品衛生に かかわる活動</p> <p>7 保健サービ スとその活用</p> <p>8 医療サービ スとその活用</p> <p>9 医薬品の制 度とその活用</p>	<p>教科書・ノ ート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できる。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。 ・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できる。 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる。 ・産業廃棄物の処理について説明できる。 ・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。 ・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 ・食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。 ・保健行政の役割について例をあげて説明できる。 ・保健サービスの活用の例をあげることができる。 ・わが国における医療保険のしくみについて説明できる。 ・さまざまな医療機関の役割について説明できる。 ・医薬品の正しい用法について説明できる。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。 	<p>16</p>	<p>提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査 a, b, c</p> <p>提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査 a, b, c</p> <p>提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査 a, b, c</p> <p>提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査 a, b, c</p>
--	--	---------------------	--	-----------	---

	10 さまざまな保健活動や社会的対策	教科書・ノート	<ul style="list-style-type: none"> ・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できる。 ・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できる。 	2	提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査 a, b, c
	11 健康に関する環境づくりと社会参加		<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。 ・環境づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを説明できる。 		提出物などの内容の確認 授業中の発言や取り組みの観察 ノートの記入状況 考査 a, b, c

計 35 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・考査を前期と後期にそれぞれ実施します。
- ・評価をするため、定期的にノートを回収し確認を行います。
- ・単元によっては、ワークシートやプリントを配付します。

8 担当者からの一言

保健の授業で学んだことを、日常生活や社会生活の中で正しい知識・技能と思考・判断のもと、実践しましょう。生涯を通じて自他の健康の保持増進など、明るく豊かな活気ある生活を営めることを期待しています。

(担当：志田 亮太)